

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果

公表日：2019年 2月 28日

事業所名：こども支援センタースマイル

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法令に遵守したスペースの確保をしています。支援に合わせて、パーテーションを使用するなどの配慮をしています。	はい23 どちら3 わからない1 スペースや職員の配置数が適切なのかは分かりませんが、室内は清潔で使いやすく整えられていると思います。	今後も集中しやすい空間作りや活動しやすいスペースの確保を目指していきます。
	2 職員の適切な配置	法令で必要とされる配置をしています。	はい23 どちら2 わからない3	今後も引き続き必要な人員配置や、増員を行います。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	建物外にはスロープがあり、事業所内も段差のない構造となっています。一日の流れや伝えたい内容については、ホワイトボードを活用し、視覚で分かりやすくしています。	はい25 いいえ1 わからない2	今後も安全面に配慮し、視覚を意識したわかりやすい伝え方を続けていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	利用児童の通所前と降所後に清掃及び消毒を行っています。活動時も温度管理やこまめな換気を行うようにしています。	はい25 わからない1	今後も引き続き毎日の清掃、換気等を行っていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日ミーティングを行い、支援の振り返りや今後の課題等を話し合っています。	/	今後も目標や課題の確認、支援の振り返りを行っていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していません。	/	今後、検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	以前、講師を招いての研修を行いました。外部研修に自主的に参加し、その内容を事業所内で報告、職員間で共有しています。	/	可能な限り研修への参加を行い、職員間で共有し職員のスキルアップを目指していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	定期的に個別課題を行い、保護者のニーズや課題等を話し合い、また日々の記録や職員の意見等をふまえて個別支援計画を作成しています。	はい26 どちら1 良いことばかりでなく、できていないこと、苦手なこともきちんと伝えてくれるので、家庭でも目標を持って生活できています。	契約時のアセスメントや懇談(モニタリング)などで話し合い、日々の記録などをもとに個別支援計画を作成していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個々の課題や状況に応じて作成しています。個別と集団の組み合わせに関しては、明確になってない場合があります。		個々の状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた個別支援計画を作成します。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画には、支援目標と共に項目や支援内容を記載しています。	はい25 どちら1 わからない1	支援内容については、わかりやすく明記していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に基づいた支援を行い、毎日のミーティングで個々の活動を話し合って記録し、職員間の共有理解を深め、支援にあたっています。	はい23 わからない1	引き続き、個々の課題、目標に沿った支援が行えるよう職員間で話し合っていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	様々な職員が立案し、ミーティング等で話し合い決めています。		直接支援する職員が様々なプログラムを考案し、日々のミーティングで話し合い決めています。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は個別課題や集団活動、集団あそびを中心に、休日や長期休暇はイベントや制作活動など時間をかけて取り組める支援を行っています。	はい23 どちら1 わからない2 毎月その時期に合ったプログラムが盛り込まれているので、子どもも楽しみにしています。	今後も休日、長期休暇時は、平日には時間的に困難な活動や課題を行い、より充実した支援を目指していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	全体の活動は、週単位・月単位でプログラムを作成しています。個々の興味や発達の特性に応じた課題や活動ができるようにしています。		継続して行うプログラムも入れつつ、目標やめあてを検討し、固定化しないように行っています。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前にミーティングを行い、職員間で連絡事項、注意事項、役割分担の確認を行っています。		引き続き継続します。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後にミーティングを行っています。その日の利用者一人ひとりについて振り返りを行い、業務日誌等にも記載し、情報の共有を行っています。		引き続き継続します。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	当日の振り返りをもとに個々の支援を記録し、支援の検証、改善を継続して行っています。		引き続き継続します。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的な懇談(モニタリング)を実施し、半年に一回支援計画の評価、見直しをしています。		引き続き継続します。半年ごとのモニタリングを確実に行っていきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達管理責任者が参加していますが、可能な限り職員も参加しています。		引き続き継続します。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアの必要な児童の利用はありません。重症心身障害の児童に関しては担当者会議等で連携し支援しています。		引き続き継続します。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	重症心身障害の児童の医療機関との連携体制は行っていません。		保護者に確認のうえ、必要に応じて連携していきます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	担当者会議に参加し、他事業所との情報共有や必要に応じて学校との情報共有を行っています。		学校との共有、連携が難しい場合もありますが、可能な限り行っていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	相談専門員からの依頼や担当者会議等で、これまでの支援内容の提供を行っています。		スムーズな移行が行えるよう、必要に応じて情報提供を行います。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修に参加したり、助言をいただくこともあります。		今後も研修に参加したり、必要に応じて連携していきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施していません。	はい4 どちら5 いいえ5 わからない12 スマイルで過ごす時間内で、そのような活動の機会がなくても問題ないと思います。	今後、検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	散歩の時のあいさつや買い物学習等で地域の方との関わりはありますが、事業所の行事の招待は実施していません。		機会があれば地域との交流も行いたいと思います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学时、契約時に説明しています。質問があった時にはその都度、説明しています。	はい22 どちら2 いいえ1	引き続き、ご理解いただけるようしっかりと説明していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	懇談会の時に話し合い、説明をしています。	はい25 いいえ1 わからない1	引き続き、ご理解いただけるようしっかりと説明していきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	懇談会の時に話し合い、一緒に考えたり、助言を行っています。積極的なペアレント・トレーニングは行っていません。	はい12 どちら7 いいえ3 わからない5 あまり参加できていないため分かりません。	今後も保護者と一緒に考えたり、可能な限り研修のお知らせや交流の場の提供などを行っていきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	事業所での様子等で連絡帳に記載しています。また、送迎時に直接、保護者に報告したり、家での様子を尋ねるなど行い、共通理解に努めています。	はい25 どちら1 わからない1 連絡ノートにその日の様子を詳しく書いてくださったり、送ってくださった時に話して下さるので安心です。	引き続き継続していきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	ご相談いただいたことに、共に考え対応しています。必要に応じて、相談専門員への相談や他機関の紹介を行っています。	はい25 どちら1 いいえ1	引き続き継続していきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年に2回、茶話会を開催しています。	はい17 どちら7 わからない2 あまり参加していないので分かりません。	引き続き継続していきます。内容等も検討していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情窓口の説明を行っています。苦情やご意見に対して、事実確認等、迅速かつ丁寧に対応するように心掛けています。	はい19 どちら1 わからない6	引き続き、ご理解いただけるよう契約時にしっかりと説明していきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要に応じて、口頭だけでなく、連絡帳などの書面による伝達やお知らせを行っています。子どもとの意思疎通については必要に応じて視覚支援の対応をとっています。	はい23 どちら2	引き続き継続していきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月「スマイル便り」を発行し、月単位、週単位の活動予定や行事予定、連絡事項、事業所の様子をお知らせしています。	はい24 どちら1 わからない1 ホームページ等見ていないので分かりません。毎月の行事予定等の発信はとても助かります。	引き続き継続していきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人ファイル等、個人情報等の取扱いについては、職員間で他者の目に触れることのないように徹底し、事務所内の施錠を行う等対応しています。	はい24 わからない2	引き続き継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成し、事業所内に掲示するなどし、職員には周知していますが、保護者への周知はできていません。	はい17 どちら2 わからない7	今後、保護者向けにマニュアルを作成し配布します。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月1回避難訓練を実施しています。(火災・地震・不審者侵入)	はい15 どちら1 わからない9	実施していますが、保護者への周知が不十分でした。スマイル便り、連絡帳でお知らせしていきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	毎日のミーティングで、職員自身の支援の振り返りを行っています。		可能な限り、研修に参加し職員間で情報共有を行います。虐待が疑われる時には、関係機関と連携し適切な対応をします。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	支援の内容において、やむを得ず身体拘束が必要な場合には、事業所内でしっかりと話し合い保護者にも説明、了解を得ることとしています。		現在、身体拘束は行っていません。今後やむを得ず必要な場合は、しっかりと話し合い、保護者の了解のもと適切な対応を行います。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に保護者から聞き取りを行い、アレルギーのある児童について全職員に分かりやすいように示しています。		引き続き継続していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	職員からの報告を受け、ヒヤリハットを作成しています。事業所内会議で全職員に報告し、対策を共有しています。		引き続き継続していきます。